

# 地震被害想定次のフェイズを考える

- 仙台市における地域防災力の向上に向けて -

平成15年4月22日（火）

東北大学 災害制御研究センター  
災害ポテンシャル研究分野  
講師 佐藤 健

「地域防災力」は応急**対応力**ではなく、地域社会が災害に対して持つ**抵抗力**

# 話題提供の全体フレーム

- 仙台市地震被害想定調査
  - 受託業務の全体概要
  - 強震動評価結果
  - 木造建物の現況と被害想定結果
  - 木造建物の耐震化関連事業
- 防災マップ・防災カルテ
  - 地域防止計画の見直し
  - 自主防災組織の現状と課題
  - カルテ・マップを取り巻く社会状況の整理
  - 創造工学研修による取組み
- まとめ

# 話題 仙台市地震被害想定について

- 前回調査と今回調査
- 調査の協力体制
- 想定の対象とした地震
- 地震動評価結果
- 地震動評価手法
- 木造建物の現況と都市間比較
- 木造建物の被害予測手法
- 木造建物の被害予測結果
- 木造建物の被害率予測の都市間比較
- 死者数予測



報告書の概要版は仙台市消防局のホームページで既に公開済み。全ページをPDFでダウンロード可能



# 話題 防災マップ・防災カルテ

---

- 地域防災計画の見直し
- 自主防災組織の現状と課題
- 防災マップを取り巻く社会状況の整理
- 創造工学研修での取組み
- 成果品（試作版）の部分的な解説
- 新しいワークショップによる取組み

# 全体のまとめ

- 優れた科学技術に基づいた被害予測や災害学理を究明することは学問としては重要で本筋
- 「防災都市宣言」や「KOBE」の後，仙台市の防災への取組みは・・・研究成果はどれだけ防災行政に反映されているのか・・・
- 相変わらず「金太郎飴」の対策が基本であり，地域防災計画は仙台の地域性や実状にあったものに・・・
- 「地震対策専門部会」と「防災会議」，「防災研究者」と「防災行政官」，「研究」と「実務」との距離が広すぎる
- 被害想定結果が地域防災計画に効果的に反映されていない現状がある！

# おわりに(問題提起)

- 災害科学の進展と地域防災力の向上はリンクする？
- 地域住民に対策行動をとらせるのは誰か？
  - 国，地方行政，町内会組織，マスコミ，研究者，・・・
- 推本の「成果を社会に生かす部会」の地方バージョンが地域には必要では？
- 地域防災力を向上させるためにインセンティブな防災マップと防災カルテのあり方があるのでは？
- 科学的根拠に基づいたリスクコミュニケーションの必要性（産官学民の連携における学の役割の一つに）

